

文理芸融合のグローバル総合大学へ

A university leading in unique fusion education in the Humanities,
Science and Art to inspire the globally active next generation.



発行：学校法人 中村産業学園 総合企画部企画課
〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1
TEL：092-673-5505
E-mail：kikaku@ml.kyusan-u.ac.jp

事業計画・実績



KSU VISION 2030

学校法人中村産業学園
中期計画
(2021-2030)

第1フェーズ(2021-2025)エディション

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY, ZOKEI
JUNIOR COLLEGE OF ART AND DESIGN



中期計画（2021-2030）の策定にあたって

1960年、「産学一如」を建学の理想とし、商学部商学科のみの単科大学として開学した本学は、9学部21学科・大学院5研究科と短期大学部に1万人を超える学生が学ぶ総合大学に成長しました。2020年度に創立60周年を迎えた本学は、40年後の創立100年にどのような大学でありたいかを改めて考え、「新たな知と地をデザインする大学へ—もっと意外に。もっと自由に。—」を新たなビジョンとして掲げ実現にむけて進みだしました。このたび策定いたしました「中期計画」はビジョンの実現に向けて最初の10年間で目指す姿を「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と定めて、その実現のための具体的なアクションプランを示したものです。5年ごとの見直しに加え、時代の変化にあわせて適宜修正を加えながら、目指す姿の実現に向け、教職員一丸となって取り組みを推進していきます。



学校法人中村産業学園 理事長
津上 賢治 Tsugami Kenji

| INDEX |

理事長あいさつ	1	▶各分野の目標	
中期計画(2021-2030)の位置付け	2	教育	7
中期計画(2021-2030)の概要	3	研究	8

建学の理想

建学の理念

産学一如

市民的自覚と中道精神の振興
実践的な学風の確立

産業と大学は車の両輪のように一体となって
時々の社会のニーズを満たすべきである。

創立100周年に向けたビジョン

新たな知と地をデザインする大学へ

— もっと意外に。もっと自由に。 —

中期計画（2021-2030）

スローガン

文理芸融合の グローバル総合大学へ

A university leading in unique fusion education in the Humanities,
Science and Art to inspire the globally active next generation.

中期計画を具体化した単年度事業計画

国際化	9	ダイバーシティ	11
産学連携	10	ブランディング	11
社会・地域貢献	10	経営基盤	12
		▶学校法人中村産業学園 中期計画(2021-2030)	13

文理芸融合のグローバル総合大学へ

大学の事業の根幹である、「教育」「研究」「社会・地域貢献」「経営基盤」の4分野に、今後さらに強化すべき、「国際化」「産学連携」「ダイバーシティ」「ブランディング」の4分野を加えて、各分野での目指すべき目標及び方向性を明確にしました。

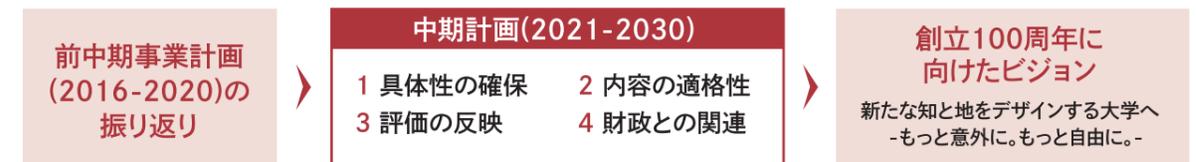


▶ 中期計画策定のプロセス

- 【1】前中期事業計画(2016-2020)の振り返りを行い、その結果を新たな中期計画に織り込みました。
- 【2】教職員が参画意識を持てる計画とするため、教職員20名によるワーキンググループを結成して原案を作成しました。
また、学内各部所から意見聴取を行いながら、ボトムアップ式で計画策定を行いました。

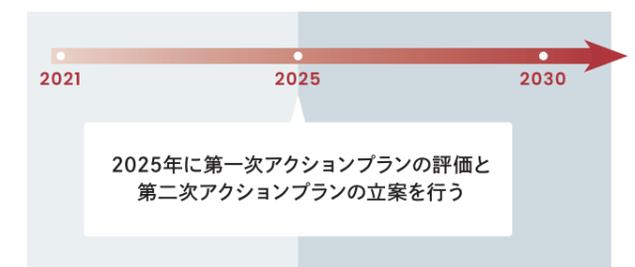
策定にあたって重視した事項

- 1 具体性の確保
 - 計画の中身を具体的に記載する(可能な限り数値目標を設定)
- 2 内容の適格性
 - 文教政策及び社会の動向を踏まえる
 - 大学の独自性を踏まえ、特色を伸ばす
- 3 評価の反映
 - 認証評価及び自己点検・評価への対応をアクションプランに盛り込む
- 4 財政との関連
 - 財務計画と連動させる
 - 教学と経営のバランスをとる



▶ 中期計画の期間

中期計画の期間である10年を二つに分け、5年毎にアクションプランを作成することで、将来を見通すだけでなく、より着実に前進することを両立させました。前半となる第一次アクションプラン(2021～2025年度)の終了時期には、目標達成状況の検証と外部環境の変化を踏まえた後半の第二次アクションプラン(2026～2030年度)を策定します。



▶ 中期計画に期待する効果

- 【1】組織の維持・発展に繋げること
- 【2】大学と法人が共通の目標に向かい活動すること(教職協働)
- 【3】目標の浸透化により、教職員の改善・改革意識を向上させること

▶ 進捗管理体制

【1】中期計画進捗管理委員会

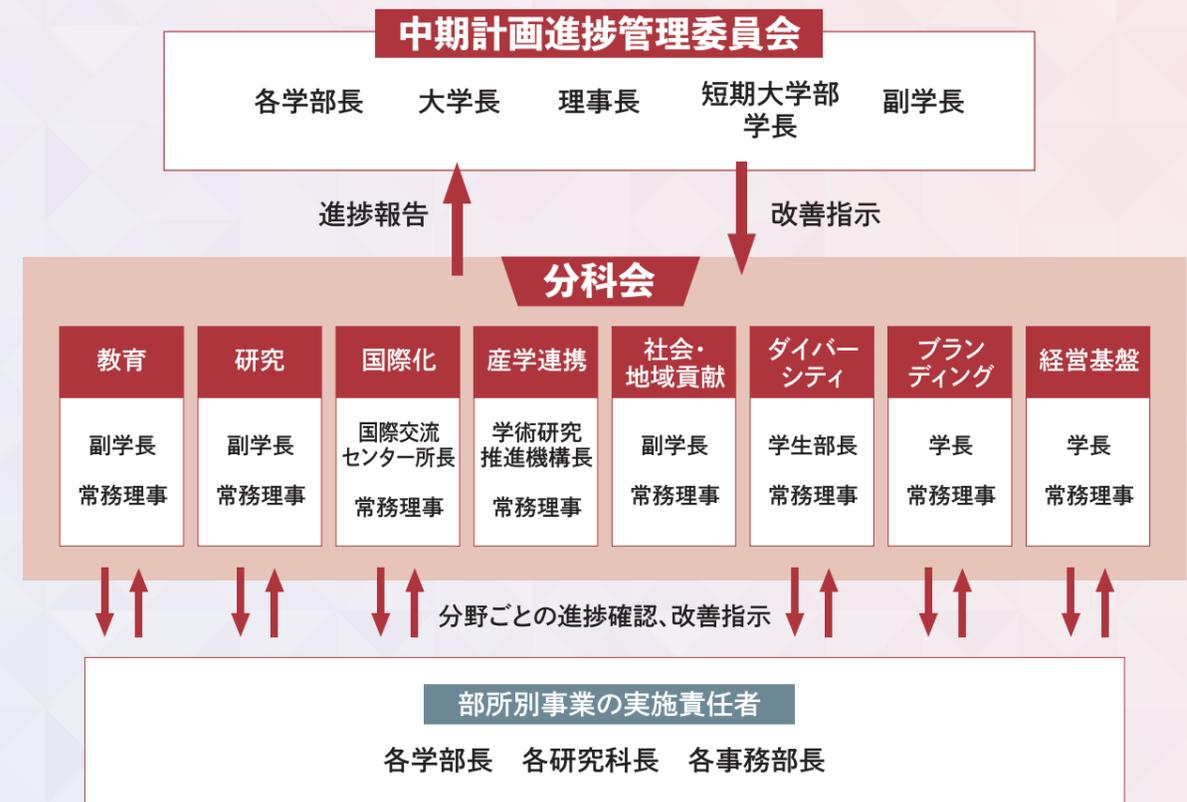
中期計画の進捗管理及び効果・評価の検証を確実に実施するため、新たに「**中期計画進捗管理委員会**」を設置しました。

【2】分野ごとの進捗管理体制

8つの分野ごとに**分科会**を設置し、各分野の総括責任者(2名体制)の下、部所別事業の進捗管理を行いながら、着実な事業展開と組織的な検証評価を推進する体制を整えました。

分科会の役割

中期計画に定める2025年度・2030年度までの目標及びアクションプランの進捗確認を行う。
併せて各学部・研究科・部所が行う単年度事業計画の進捗管理を行い、必要に応じて改善指示を行う。



【3】進捗管理の流れ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間予定			事業実績報告									次年度事業決定	
中期計画 進捗管理委員会	中期計画		② 委員会開催 ・当年度実行計画の確認 ・達成状況の確認 ・未達項目の改善指示						⑤ 委員会開催 ・達成状況確認 ・未達項目の改善指示			⑦ 委員会開催 ・達成状況の確認 ・未達項目の改善指示	
	単年度事業計画		・(前年度事業)実績検証、公表						・進捗確認			・(当年度事業)実績見込確認 ・(次年度事業)事業計画の決定	
分野ごとの分科会 教育、研究、国際化、 産学連携、 社会・地域貢献、 ダイバーシティ、 ブランディング、 経営基盤	中期計画	① 分科会実施 ・当年度実行計画の確認 ・前年度達成状況検証			③ 分科会実施 ・達成状況確認			④ 分科会実施 ・達成状況確認			⑥ 分科会実施 ・達成状況確認 ・単年度事業と中期計画の 関連性確認		
	単年度事業計画	・(前年度事業)実績検証 ・未達事業の改善指示			・進捗確認 ・未達事業の改善指示			・進捗確認 ・未達事業の改善指示			・(当年度事業)実績見込確認 ・未達事業の改善指示 ・(次年度事業)計画の必要性確認 ・予算の妥当性確認		
各学部・各研究科・ 各部所	単年度事業計画	(前年度事業)実績報告			・進捗報告						・(当年度事業)実績見込報告 ・(次年度事業)事業計画申請		

教育 - Education -

多様な資質を有する学生の獲得および文理芸が融合した実践力をみがく教育を実施する。

多様な資質を有する学生の獲得

- アドミッション・ポリシーに沿った優秀な学生の獲得

文理芸が融合した多様な教育プログラムの構築

- 実践力を育成する教育プログラムの推進
- 新時代に対応した教育プログラムの開発
- 学年暦の柔軟化

「学び」の質保証の構築

- 教学マネジメントの確立

学生支援の充実

- 学生の満足度を向上させる支援の実施
- ポストコロナ時代へ対応した支援の実施

リカレント教育の拡充

- 高等教育機関としての学び直しの推進



研究 - Research -

研究力の向上を目指すとともに、大学院の改革を行い教育研究体制の充実を図る。

オンリーワン研究の創出

- 文理芸を融合した学際的研究の推進
- 研究実績の拡大

研究活動の活性化

- 産業界と連携した研究の推進

大学院のプレゼンスの向上

- 優秀な大学院生の獲得
- 大学院の改革



国際化 - Globalization -

留学プログラムの充実を図り、様々な海外経験を通じて、グローバル人材の育成を目指す。

グローバル人材の育成

- 国際感覚を養うプログラムの展開
- 学生の海外経験の増加及び留学支援体制の強化
- 優秀な留学生の獲得及び支援の強化
- 海外大学・組織等との連携の強化
- 国際化を推進する体制の整備



産学連携 - Industry-Academia Partnership -

企業との共同研究や、大学発ベンチャーの設立など研究成果の社会実装を目指し、産学連携を強化する。

大学と産業界が直結した産学連携

- 社会性の高い研究の促進
- 産学官連携を強化するネットワークの構築
- 大学発ベンチャーの育成



社会・地域貢献 - Social and Regional Contribution -

地域の課題解決に向けた取り組みや本学施設を利用した交流などを通じて、地域に貢献する大学を目指す。

九州・アジアでの社会貢献活動の展開

- 地域社会の課題解決へ向けた貢献活動の推進
- 本学の施設を活用した地域との交流

地域における生涯学習の拠点形成

- 地域に向けた知の発信



ダイバーシティ - Diversity -

多様な人々が集い学ぶインクルーシブな大学運営を行う。

多様性を尊重する大学の実現

- 男女共同参画社会を担う学生の育成
- 多様な学生への支援
- 多様な教職員の参画機会拡大

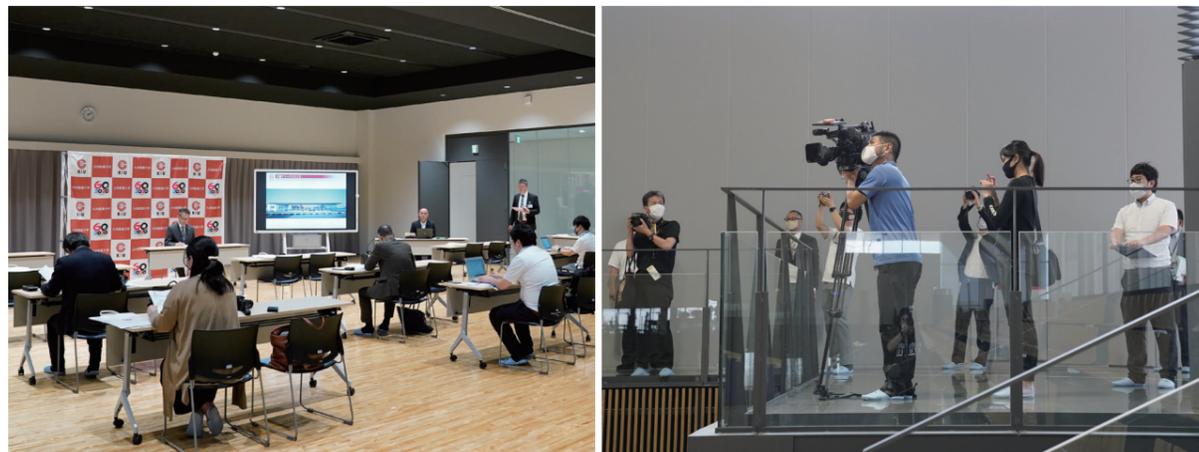


ブランディング - Branding -

本学ならではのブランドイメージの構築を図り、産業界や地域への広報・広聴活動を拡充する。

新たなブランドイメージの構築

- 本学ならではのイメージ構築(「もっと意外に。もっと自由に。」)
- 産業界や地域への広報・広聴機能の拡充



経営基盤 - University Management -

財務体質や大学運営の基盤強化および職員のさらなる能力向上を目指す。

大学運営の基盤強化

- 継続的な組織改革
- IR機能の強化
- ガバナンスの強化
- 教員組織の充実
- 同窓会・卒業生との関係強化

財務体質の強化

- 財政基盤の一層の強化

働きやすい職場環境の整備

- 業務改革・効率化

事務職員の更なる能力向上

- 事務職員の能力開発

まなび“学美の丘”を実現するキャンパス整備

- 将来を見据えたキャンパス整備



学校法人中村産業学園 中期計画(2021-2030)

分野	No.	2030年度の目標	No.	2025年度までの目標	No.	第一次アクションプラン(2021~2025年度)	実施主体	関連部所1	関連部所2	関連部所3	完了時期	2025年度までの数値目標				
A 教育	1	多様な資質を有する学生の獲得	1	アドミッション・ポリシーに沿った優秀な学生の獲得	1	学力の高い志願者の獲得強化(偏差値等の向上)	入試部入試課	総合企画部広報課	各学部			2025年度末	・延べ志願者数:45,000名 ・実志願者数:15,000名 ・偏差値:全学部5ポイントUP			
					2	各地域の進学者実数に占める本学占有率の確保	入試部入試課				2025年度末					
					3	選抜方法の見直し(多面的・総合的な評価の導入)	入試部入試課	各学部			2022年度末					
					4	入試種別(一般入試・総合型選抜等)の見直し	入試部入試課	各学部			2022年度末					
					5	高大接続教育の拡充(探求学習の支援を通じた連携、ICTを活用した連携等)	基礎教育センター	入試部入試課	教務部教務課	各学部	2022年度末					
					6	付属高校との連携の強化	入試部入試課	基礎教育センター	教務部教務課	学生部学生課	2023年度末					
	2	2	文理芸が融合した多様な教育プログラムの構築	2	実践力を育成する教育プログラムの推進	7	産業界との連携によるプロジェクト型教育の推進(オープンイノベーションセンターの活用等)	産学連携支援室	教務部教務課	各学部			2024年度末	・プロジェクト型教育の総数:200 ・単位化したプロジェクト型教育プロジェクト数:120		
						8	プロジェクト型教育の質の向上及び拡大(単位認定化・外部公開等の実施)	教務部教務課	総合企画部企画課	各学部		2021年度末				
						9	外部の実務家を講師に招いた授業の拡大	教務部教務課	基礎教育センター	総務部総務課		2025年度末				
						10	SDGs関連教育の拡充	教務部教務課	基礎教育センター			2025年度末				
		3	新時代に対応した教育プログラムの開発	11	学部再編後の検証及び見直し(新たな教育分野の開拓等)	大学改革推進室	各学部			2022年度末	-					
				12	KSU基盤教育の再構築	教務部教務課	基礎教育センター	語学教育研究センター	各学部	2021年度末						
				13	文理芸が融合した学部横断型教育プログラムの構築	教務部教務課	大学改革推進室	基礎教育センター	各学部	2021年度末						
				14	学部横断型トップアッププログラム(GLP等)の拡充	大学改革推進室	教務部教務課	各学部		2023年度末						
				15	副専攻プログラムの導入	大学改革推進室	教務部教務課	各学部		2022年度末						
				16	複数分野専攻制の導入に向けた検討(マルチプル・ディグリー制度等)	教務部教務課	大学改革推進室	各学部		2025年度末						
				17	理工系分野(数理・データサイエンス・AI等)の教育研究組織の新設に向けた検討	大学改革推進室	教務部教務課			2023年度末						
				18	多様な教育プログラムを体験する「大学間連携」の強化	教務部教務課	総務部学外連携課	大学改革推進室		2024年度末						
		4	学年暦の柔軟化	19	クォーター制の導入に向けた検討	教務部教務課	総務部総務課	人事部人事課		2023年度末						
				20	内部質保証システムの確立	大学評価室	教務部教務課			2024年度末						
		3	「学び」の質保証の構築	5	教学マネジメントの確立	21	3つのポリシーの確立及び見直し	大学評価室	教務部教務課	各学部	各研究科		継続	-		
						22	ディプロマ・ポリシーに基づく体系的な教育課程の編成(見直し)及び実施	教務部教務課	大学評価室	各学部	各研究科		継続			
						23	学修成果の把握及び可視化(ルーブリック等)	教務部教務課	大学評価室				継続			
						24	学修成果及び教育成果の公表	教務部教務課	大学評価室	総合企画部広報課			継続			
	25					教育改善活動としてのFD・SDの実施	大学評価室	教務部教務課	人事部人材開発課	各学部		継続				
	26					教学IR体制の整備及び人材の育成	大学評価室	人事部人材開発課	教務部教務課			継続				
	27					学生の学びの支援体制の充実(TA・SA・LA等の学生修学サポートスタッフの適切な配置)	教務部教務課	人事部人事課	財務部用度課	各学部/各研究科		継続				
	4	学生支援の充実	6	学生の満足度を向上させる支援の実施	28	除籍・退学・卒業延期者の削減に向けた修学支援の充実	教務部教務課	学生部学生課				継続	・除籍退学率:3.0% ・サークル加入率:65.0% ・就職決定率(対就職希望者):100.0% ・就職決定率(対卒業生):95.0%			
					29	給付型奨学金の再構築	学生部厚生課					2023年度末				
					30	課外活動のさらなる活性化	学生部学生課	健康・スポーツ科学センター				継続				
					31	魅力的な学食・福利厚生施設の整備及び運用	学生部厚生課	財務部用度課				2022年度末				
					32	正課及び正課外の接続による専門資格取得に向けた支援	教務部教務課	キャリア支援センター	各学部			2022年度末				
					33	学部・研究科の専門性を活かした資格取得支援	人間科学部	国際文化研究科				継続				
					34	キャリア教育の充実(インターンシップ、職業意識の醸成)	キャリア支援センター	基礎教育センター				継続				
					35	学部と一体となった就職活動支援	キャリア支援センター	各学部				継続				
					36	学外との連携によるキャリア支援の拡充(卒業生、企業等外部機関)	キャリア支援センター	学生部厚生課	各学部			2024年度末				
					7	ポストコロナ時代へ対応した支援の実施	37	ICTを活用した教育のさらなる推進(対面とオンラインによる複合型授業)	教務部教務課	総合情報基盤センター	財務部用度課				2025年度末	・全学部全学科において複合型授業の導入
							38	一貫した学生支援体制の充実(修学支援、学生生活支援、キャリア支援)	教務部教務課	学生部厚生課/学生部学生課	キャリア支援センター	総務部総務課			2025年度末	
	5	リカレント教育の拡充	8	高等教育機関としての学び直しの推進	39	社会のニーズに対応するリカレント教育の導入(相談窓口の明確化を含む)	大学改革推進室	総務部学外連携課	教務部教務課	キャリア支援センター		2024年度末	-			

分野	No.	2030年度の目標	No.	2025年度までの目標	No.	第一次アクションプラン(2021~2025年度)	実施主体	関連部所1	関連部所2	関連部所3	完了時期	2025年度までの数値目標	
B	研究	1	オンリーワン研究の創出	1 文理芸を融合した学際的研究の推進	1	Society5.0の実現に向けた特色ある研究の推進	産学連携支援室	産業経営研究所	各学部	各研究科	2022年度末	・研究プロジェクト数(学内):10 ・研究プロジェクト数(大学間):10	
					2	柿右衛門研究の世界的研究拠点の形成	産学連携支援室			継続			
					3	共同研究プロジェクトの推進	産学連携支援室	産業経営研究所	各研究科	2025年度末			
			2	研究実績の拡大	4	研究発表機会の拡大	産学連携支援室	産業経営研究所	各学部	各研究科	2022年度末	・学術論文数:330 ・特許保有数:25(累積)	
					5	研究業績の多言語化	産学連携支援室	産業経営研究所	図書館	2025年度末			
					6	査読付き論文の増加に向けた支援	産学連携支援室	産業経営研究所		2022年度末			
					7	知的財産の創出及び活用のための支援体制の強化	産学連携支援室	産業経営研究所		2024年度末			
					8	教育及び研究の接続強化を目的とした教育・研究支援体制の整備	産学連携支援室	産業経営研究所		2025年度末			
					9	研究時間の創出(事務負担の軽減)	総合企画部企画課	人事部人事課	総務部総務課	2021年度末			
					10	研究倫理及び研究コンプライアンスの徹底	産学連携支援室	総務部総務課	人事部人材開発課	財務部財務課	継続		
	2	研究活動の活性化	3	産業界と連携した研究の推進	11	受託研究・共同研究の増加	産学連携支援室	産業経営研究所	各学部	各研究科	2025年度末	・科研費採択件数:150 ・受託、共同研究:75件7,500万円	
					12	外部資金の積極的獲得	産学連携支援室	産業経営研究所	各学部	各研究科	2025年度末		
	3	大学院のプレゼンスの向上	4	優秀な大学院生の獲得	13	内部進学者数の増加	教務部大学院事務局	各学部	各研究科		2024年度末	・内部進学者数:70名 ・社会人院生数:30名	
					14	多様な院生(社会人、留学生)の獲得	教務部大学院事務局	各研究科		2024年度末			
					15	大学院の認知度アップと魅力の訴求	教務部大学院事務局	各研究科	総合企画部広報課	2024年度末			
					16	大学院生向けの就職支援体制の強化	キャリア支援センター	各研究科	教務部大学院事務局	2021年度末			
			5	大学院の改革	17	大学院の入学定員の適正化	大学改革推進室	教務部大学院事務局	各研究科		2022年度末	・大学院定員充足率:70.0% ・社会人院生数:30名	
					18	理工系学部との接続の強化(学部+修士の6年間でのカリキュラム整備)	大学改革推進室	教務部教務課	教務部大学院事務局	各研究科	2023年度末		
					19	基礎となる学部との連携の強化	大学改革推進室	教務部大学院事務局	各研究科	各学部	2021年度末		
C	国際化	1	グローバル人材の育成	1	国際感覚を養うプログラムの展開	1	グローバル・リーダーシップ・プログラムの拡充	国際交流センター	教務部教務課			2025年度末	-
						2	国連ハビタットとの連携強化による人材の育成	国際交流センター	教務部教務課	学生部学生課		2023年度末	
						3	国際共同学位プログラムの検討	教務部教務課	国際交流センター			2025年度末	
				2	学生の海外経験の増加及び留学支援体制の強化	4	海外渡航プログラム制度の拡充(チャレンジマンズの活用)	国際交流センター	語学教育研究センター	教務部教務課	商学部/国際文化学部	2023年度末	・海外留学生数(長期):30名 ・海外留学生数(短期):500名 ・海外留学生数(インターンシップ):40名 ・学生の約半数が、4年間で一度は海外を経験
						5	海外語学留学や海外インターンシップの拡充	国際交流センター	語学教育研究センター	キャリア支援センター	国際文化学部	2023年度末	
						6	留学支援奨学金制度の充実	国際交流センター	学生部厚生課			2022年度末	
						7	語学力向上のための支援の充実(語学資格取得に向けた支援等)	語学教育研究センター	キャリア支援センター	教務部教務課	国際文化学部	2021年度末	
				3	優秀な留学生の獲得及び支援の強化	8	海外の高校(日本語専攻)への募集活動の実施	入試部入試課	国際交流センター			2022年度末	・外国人留学生就職決定率(対就職希望者):95.0% ・外国人留学生就職決定率(対卒業生):80.0%
						9	外国人留学生の九州エリア企業へのインターンシップ及び就職の拡大	国際交流センター	キャリア支援センター	語学教育研究センター		2023年度末	
						10	日本語能力向上のための教育カリキュラムの見直し	語学教育研究センター	教務部教務課	国際交流センター		2021年度末	
				4	海外大学・組織等との連携の強化	11	海外協定校の拡充と連携の強化	国際交流センター	各学部			2025年度末	・海外協定校:30校
						12	海外の博物館や美術館との連携の強化	美術館				継続	
						13	同窓会楠風会海外地方本部・支部(台湾・韓国・上海等)や日本で働く卒業生(留学生)との連携の強化	国際交流センター	学生部厚生課			2023年度末	
				5	国際化を推進する体制の整備	14	海外大学との教員相互交流、招聘の推進	国際交流センター	人事部人事課			2023年度末	-
						15	教職員の国際化対応能力の向上(事務職員の海外経験機会の創出)	人事部人材開発課	国際交流センター	語学教育研究センター		2021年度末	
						16	英語による授業展開の推進	教務部教務課	国際交流センター			2025年度末	
						17	国際化に伴う危機管理体制の強化	総務部総務課	人事部人事課	国際交流センター		2022年度末	
D	産学連携	1	大学と産業界が直結した産学連携	1	社会性の高い研究の促進	1	産学共同研究の拡充(URAの活用促進、発信力強化)	産学連携支援室	産業経営研究所			2025年度末	・産業界との共同研究数:50
						2	SDGsに関連する共同研究の実施	産学連携支援室	各学部	各研究科		2025年度末	
				2	産学官連携を強化するネットワークの構築	3	アドバイザリーボードによる産業界との連携強化	総合企画部企画課				2021年度末	-
						4	産学連携センターの設置	産学連携支援室	総務部学外連携課			2022年度末	
						5	地域企業及び自治体との連携強化(九州以外のエリアも含めた企業連携等)	産学連携支援室	キャリア支援センター			2025年度末	
				3	大学発ベンチャーの育成	6	スタートアップ支援の充実(オープンイノベーションセンターの活用)	産学連携支援室	各学部	各研究科		2025年度末	・ビジネスプランコンテストへの参加(5年間累計):40件

分野	No.	2030年度の目標	No.	2025年度までの目標	No.	第一次アクションプラン(2021~2025年度)	実施主体	関連部所1	関連部所2	完了時期	2025年度までの数値目標				
E	1	九州・アジアでの社会貢献活動の展開	1	地域社会の課題解決へ向けた貢献活動の推進	1	同窓会楠風会地方本部・支部及び同窓会薫風会と連携した地域貢献プロジェクトの開発	総務部学外連携課	学生部厚生課			2024年度末	・CO ₂ 削減率: ▲10%(基準年:2020年度) ・全学生が、4年間で一度は社会貢献活動を経験			
					2	地域の課題解決につながるSDGsプロジェクトの推進	総務部学外連携課	学生部学生課			2025年度末				
					3	アジアでのSDGsプロジェクトの推進	国際交流センター	産学連携支援室			2025年度末				
					4	環境に配慮したキャンパスの推進・整備	総務部施設課				継続				
					5	学生及び教職員による社会貢献活動の推進	学生部学生課	総務部学外連携課			継続				
					6	自治体と連携した地域振興活動の推進	地域共創学部				2025年度末				
					7	地域貢献活動における情報の一元化と実績の公表	総務部学外連携課	総合企画部広報課			2022年度末				
	2	地域における生涯学習の拠点形成	3	地域に向けた知の発信	8	地域と連携した総合防災訓練の実施	総務部総務課	総務部学外連携課	総務部施設課			継続	-		
					9	学生と地域住民や高校生が交流する施設開放の推進	総務部学外連携課	学生部学生課	図書館			2022年度末			
					10	地域のスポーツチームとの連携による地域貢献	健康・スポーツ科学センター				2025年度末				
					11	大学内施設の地域住民への積極的な開放	総務部学外連携課	図書館	健康・スポーツ科学センター		2021年度末				
	2	地域における生涯学習の拠点形成	3	地域に向けた知の発信	12	生涯学習講座や社会人向けセミナーの充実(卒業生や学外との連携、ICTの活用)	総務部学外連携課	産業経営研究所				2023年度末	・公開講座数:20講座800名		
					13	地域の青少年のための教育の実施	生命科学部				2025年度末				
					14	文化芸術活動の推進(伝統文化、アートデザインセンター(仮)の設置等)	美術館	芸術学部	造形短期大学部		2024年度末				
F	1	多様性を尊重する大学の実現	1	男女共同参画社会を担う学生の育成	1	ダイバーシティに関する教育の拡充	基礎教育センター	男女共同参画推進室			2021年度末	-			
					2	男女共同参画の視点に立ったキャリア教育の構築	キャリア支援センター	男女共同参画推進室			2023年度末				
	2	多様な学生への支援	2	多様な学生への支援	3	多様な学生に対応した施設の整備(多様性を意識した学生食堂、だれでもトイレ)	総務部施設課	学生部厚生課	男女共同参画推進室		2023年度末	・女子学生比率:40.0%			
					4	多様な学生に対応した相談・支援体制の整備	学生部厚生課	基礎教育センター	男女共同参画推進室		2023年度末				
					5	インクルーシブ教育の実現に向けた支援体制の構築	学生部厚生課	基礎教育センター	男女共同参画推進室		2021年度末				
	3	多様な教職員の参画機会拡大	3	多様な教職員の参画機会拡大	6	女子学生の活動支援の充実(女子学生コミュニティ形成の推進)	学生部学生課	男女共同参画推進室			2022年度末	・女性管理職の割合:20.0% ・女性教員比率:30.0% ・外国人教員比率:15.0%			
					7	ライフイベント(育児、介護等)に対応した支援の充実	人事部人事課	男女共同参画推進室			2022年度末				
					8	教職員のダイバーシティに関する意識の醸成	男女共同参画推進室	人事部人事課			2023年度末				
					9	多様な人材の採用・登用・育成	人事部人事課	男女共同参画推進室			継続				
G	1	新たなブランドイメージの構築	1	本学ならではのイメージ構築(「もっと意外に、もっと自由に。」)	1	ブランディング評価の把握及び分析	総合企画部広報課				2021年度末	・各ランキング評価において、九州5位(全国100位以内)			
					2	ブランドイメージの明確化	総合企画部広報課				2022年度末				
	2	産業界や地域への広報・広聴機能の拡充	2	産業界や地域への広報・広聴機能の拡充	3	ブランドイメージの発信(グッズ、メッセージ、ロゴデザイン)	総合企画部広報課				2023年度末	・パブリシティ掲載件数:400			
					4	マスメディアへのアプローチの強化	総合企画部広報課				2021年度末				
					5	多様なメディアを活用した効果的な情報の発信	総合企画部広報課				2023年度末				
					6	産業界への広聴活動の強化(アドバイザーボードの活用)	総合企画部企画課				2022年度末				
					7	地域からの意見聴取及び情報収集の強化	総務部学外連携課	総合企画部広報課			2022年度末				
H	1	大学運営の基盤強化	1	継続的な組織改革	1	委員会の統廃合による運営体制のスリム化	総合企画部企画課	総務部総務課			2023年度末	-			
					2	事務組織の見直し	総合企画部企画課	総務部総務課			2024年度末				
					2	IR機能の強化	3	IR組織の整備	総合企画部企画課					2022年度末	-
							4	内部チェック機能の向上及び情報の公開(信頼性・透明性の確保)	監査室	総合企画部広報課				継続	
					3	ガバナンスの強化	5	危機管理体制の強化(事業継続性の確保)	総務部総務課	総合企画部企画課	総務部施設課			2021年度末	-
	6	中期計画の進捗管理の徹底	総合企画部企画課						継続						
	4	教員組織の充実	4	教員組織の充実	7	中期的な人員計画の策定(事務職員含む)	人事部人事課	総合企画部企画課			継続	・専兼比率:35%未満			
					8	教員組織の評価・検証と改善	人事部人事課	教務部教務課			2025年度末				
					9	実務家教員の採用の拡大	人事部人事課	各学部			2025年度末				
	2	財務体質の強化	6	財政基盤の一層の強化	10	卒業生が生涯に渡り大学とつながるための仕組みづくり	学生部厚生課	キャリア支援センター	総務部総務課		2022年度末	-			
					11	使途指定型募金及び各研究支援を目的とした寄付金の拡大(寄付金推進体制の強化)	総務部総務課	財務部財務課	産学連携支援室		2023年度末				
					12	ペーパーレス化の推進	総務部総務課	財務部財務課	総合情報基盤センター		2022年度末				
					13	学園の永続的発展のための財務体質の強化	財務部財務課				継続				
	3	働きやすい職場環境の整備	7	業務改革・効率化	14	関連会社の健全な経営による福利厚生及び社会貢献の充実	総務部総務課				継続	・積み立て率:94.0% ・経常収支差額黒字幅:+9.1% ・寄付金額(通常募金・奨学寄附金):500,000千円/5年間の総額 ・支出削減率:1%減(消耗品・印刷費)/年			
					15	多様な働き方を推進する業務改革	総務部総務課	人事部人事課	総合企画部企画課		2021年度末				
	4	事務職員の更なる能力向上	8	事務職員の能力開発	16	電子化の推進(ICTを活用した事務体制、電子決裁)	総務部総務課	総合情報基盤センター			2023年度末	-			
					17	事務職員の能力開発の実質化と充実(高度化、多様化する課題への対応)	人事部人材開発課				継続				
	5	"学美の丘"を実現するキャンパス整備	9	将来を見据えたキャンパス整備	18	キャンパス将来構想の検討及び計画的実行	総合企画部企画課	総務部施設課			継続	-			
					19	防犯・安全・セキュリティの強化	総務部総務課	総務部施設課	学生部学生課		2023年度末				
20					アート&デジタルキャンパスの検討(教育研究成果の発表)	総合企画部企画課	芸術学部	総務部施設課		継続					